

IV 事業概要

1 学芸事業

【1 展示関係】

③ 生活系展示

生活系展示は、生活に関わりの深い科学を次の3つの視点から構成している。

環境アトリエ

環境を多角的にとらえることができる展示である。

100インチマルチビジョンを利用した万華鏡型環境表示システムで、4つのテーマを象徴する映像をみせる「地球環境マルチビジョン」、市内8カ所の気象観測データを表示する「お天気アイ」や15カ所の二酸化窒素濃度分布をリアルタイムで見ることができる「環境をはかる」、化石燃料から循環型のエネルギーシフトをテーマとして燃料電池システムなどを用いた「エネルギーシフト」のほか、源流から河口までの流れを模式的に観察できる「広瀬川と環境」など7つの展示からなる。

小学校教材（モジュール学習）にも利用できる「川の石」「みやぎの魚」「河原の小石」もあり、郷土の自然についての展示がある。

生活の科学



二宮康明氏紙飛行機コレクション

私たちの生活が科学と深く結びついていることを確かめていく展示である。

29年度に新設された「デュアルタスク体験 足踏み計算ゲーム」正方形のマットの上で足踏みをしながら、目の前のモニターにつきつぎと表示されるクイズに答えていきます。このシステムは、2つの動作「歩く」「考えて答える」を同時に行うようすを解析することで、「脳の健康度」を判



足踏み計算ゲーム

定する展示である。仙台出身の二宮康明氏紙飛行機コレクションのコーナーのエリアが拡大されより多くの紙飛行機が展示している。

自動車の駆動部をカットしてみせる駆動系カットモデルを中心に自動車各部の部品を分類展示する「GARAGE」、衣類や形状記憶合金など様々な生活用品に使われている素材を実験やショーで紹介する「素材のコーナー」のほか、衛星雲画像や地震情報を提供する「台原気象センター」などがあり、地球をデジタル立体表示で展示する「Dagik Earth」も展示している。「GARAGE」コーナーの一角にはドライビングシミュレータがあり、子どもから大人まで人気がある。東北大学メディカル・メガバンク機構との連携展示「ATGC ナノの旅」が加えられ

た。ゲノムに関する知識をタッチパネル式のゲームを交えてわかりやすく解説している。

趣味と遊びの科学



だいのほらアンモナイトセンター

好奇心を呼び起こす科学の遊びを通して、楽しみながら科学とのふれあいができる場である「エイムズの部屋」や初心者でも簡単な操作でコンピュータゲームを楽しめる「パソコン工房」、また、エントランスホール天井部分に人力飛行機の展示がされており、それに伴い模型や実機を通して飛ぶ仕組みを紹介した「フライトコーナー」に人力飛行機の内部構造等を示した「人力飛行機関連展示」がある。人が入ったりできる「シャボン玉コーナー」、来館者が自分の興味に応じて実験をしたり、科学の不思議さを体験したりできる「チャレンジ・ラボ」などがある。

28年度は遊びながら化石発掘体験ができる「だいのほらアンモナイトセンター」や遊びながら、問題を解決する力を育むことができるプログラミングロボットの体験コーナー「ロボットひろば」が新設された。